



ソーラー監視専用 **発電モニター**

取扱説明書

第1版

本器を末永くご愛用いただくために、ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい方法でご使用ください。
尚、この取扱説明書は、必要なときにいつでも取り出せるように大切に保存してください。



安全にご使用いただくために

ご注意




- ・ この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解してからご使用ください。
- ・ 本書は、再発行致しませんので、大切に保管してください。
- ・ 製品の本来の使用方法及び、取扱説明書に記載した方法以外での使い方に対しては、安全性の保証はできません。
- ・ 取扱説明書に記載された内容は、製品の性能、機能向上などによって将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 取扱説明書に記載された絵、図は、実際のものとは異なる場合があります。また一部省略や抽象化して表現している場合があります。
- ・ 取扱説明書の内容に関して万全を期していますが、不審な点や誤り記載漏れなどにお気づきの時は、技術サービスまでご連絡ください。
- ・ 取扱説明書の全部、または一部を無断で転載、複製することを禁止します。
- ・ 製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないでください。

使用している表示と絵記号の意味

■ 警告表示の意味

| | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------------------------------------------------------------|
|  | 警告 | 警告表示とは、ある状況または操作が死亡を引き起こす危険性があることを警告するために使用されます。 |
|  | 注意 | 注意表示とは、ある状況または操作が機械、そのデータ、他の機器、財産に害を及ぼす危険性があることを注意するために使用されます。 |
| NOTE | | 注記表示とは、特定の情報に注意を喚起するために使用されます。 |

■ 絵記号の意味

| | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
|  | 警告、注意を促す記号です。 |
|  | 禁止事項を示す記号です。 |
|  | 必ず実行しなければならない行為を示す記号です。 |

安全上のご注意 必ずお守りください

感電や人的傷害を避けるため、以下の注意事項を厳守してください。

**禁止**

取扱説明書の仕様・定格を確認の上、定格値を超えてのご使用は避けてください。

使用者への危害や損害また製品の故障につながります。

**強制**

接続ケーブル等（電源コードを含む）は使用する前に必ず点検（断線、接触不良、被覆の破れ等）してください。点検して異常のある場合は、絶対に使用しないでください。

使用者への危害や損害また製品の故障につながります。

**禁止**

本器を結露状態または水滴のかかる所で使用しないでください。故障の原因となります。また製品の性能が保証されません。

**強制**

本器と周辺装置とを接続する場合は必ず、通電状態か停電している状態かを検電器等で確認してから接続してください。

感電の原因となる場合があります。

**分解禁止**

カバーをあけたり、改造したりしないでください。

製品の性能が保証されません。

**強制**

設置、計測中に電源ブレーカーが切れた場合、切れた原因を明確にして、その原因を取り除いてから測定を再開してください。

そのまま行くと火災・感電の原因となります。

**禁止**

接続する時、電気知識を有する専門の人が行ってください。

専門の知識や技術がない方が行くと危害や損害を起こす原因となる場合があります。

安全上のご注意 必ずお守りください

本器または周辺装置の損傷を防ぐため、記載事項を守ってください。

**禁止**

落下させたり、堅いものにぶついたりしないでください。
製品の性能が保証されません。故障の原因になります。

**禁止**

本器の清掃には、薬品（シンナー、アセトン等）を使用しないでください。
カバーの変色、変形を起こす原因となります。

**強制**

接続ケーブルの取り外しは、コード自体を引っ張らずにロックを緩めてからコネクタ部を持って外してください。
コード自体を引っ張るとコードに傷がつき、誤動作、感電の原因となる場合があります。

**禁止**

保管は、60℃を超える高温の所または、-10℃より低温の所及び、多湿な所をさけてください。また直射日光の当たる所もさけてください。
故障の原因となります。

**禁止**

本器の電源には、AC100V 電源を使用します。電源を誤って取り扱うと、火災や感電などの重大な事故の原因となりますので、下記に注意してください。

- ・感電の危険がありますので、濡れた手でAC電源コードを触らないでください。
- ・AC電源コードを抜くときはコードを引っ張らず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
- ・AC電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、強く引っ張ったり、加工したりしないでください。
- ・たこ足配線は絶対にしないでください。

製品の開梱

製品到着時の点検

本器がお手元に届きましたら、輸送中において異常または破損や紛失物がないか点検してからご使用ください。
万一、損傷等の異常がある場合には、お手数ですが弊社最寄りの営業所またはお買い求めの取扱店へご連絡ください。

製品の開梱

次の手順で開梱してください。

| 手 順 | 作 業 |
|-----|-----------------------------------------------|
| 1 | 梱包箱内の書類等を取り出してください。 |
| 2 | 製品を梱包箱から注意しながら取り出してください。 |
| 3 | 梱包箱内の全ての付属品を取り出し、標準装備の付属品が全て含まれていることをご確認ください。 |

免責事項について

- 本器は各種の監視、警戒、報知、起動、威嚇、忌避、制御、護身などに使用するもので、盗難防止器、犯行防止器、災害防止器、環境破壊防止器ではありません。万一 発生した盗難事故、人身事故、災害事故、環境破壊事故 などによる事故損害については責任を負いかねます。
- 本器の取り付け、取り外し時の事故で発生した怪我、損害について弊社は一切責任を負いません。
- 本器の取り付け、取り外しによる建物等への損傷についても弊社は一切責任を負いません。
- 地震、雷（誘導雷サージを含む）及び弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本器の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失、通信機会の消失など）に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 保守点検の不備や、環境状況での動作未確認や、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本器の電源遮断（電源遮断、停電など）に伴う計測データおよび警報機会の喪失について、弊社は一切の責任を負いません。
- 本器に関し、いかなる場合も弊社の費用負担は、本器の価格内とします。

目 次

| | ページ |
|----------------------|-----|
| 1. 一般概要 | |
| 1.1 概 要 | 1 |
| 1.2 特 長 | 1 |
| 1.3 付属品 | 1 |
| 1.4 各部の名称 | 2 |
| 2. 仕 様 | |
| 2.1 製品仕様 | |
| 2.1.1 一般仕様 | 3 |
| 2.1.2 基本仕様 | 3 |
| 2.2 通報仕様 | |
| 2.2.1 発電量通知通報仕様 | 4 |
| 2.2.2 発電量通知通報例 | 5 |
| 3. 設 置（監視設備への取り付け） | |
| 3.1 接 続 | |
| 3.1.1 ソーラー監視王の設置 | 6 |
| 3.1.2 単相3線回路への接続 | 7 |
| 3.1.3 三相3線回路への接続 | 8 |
| 3.2 状態表示LEDの点灯確認 | 9 |
| 4. 設 定（インターネットによる設定） | |
| 4.1 MBSからの設定 | 10 |
| 4.1.1 MBSへのログインと端末選択 | 11 |
| 4.1.2 ソーラー監視王から読み込み | 12 |
| 4.1.3 通報先の確認 | 13 |
| 4.1.4 発電量通知設定 | 14 |
| 4.1.5 更新と再起動 | 15 |
| 5. 保 守 | |
| 5.1 点 検 | 16 |
| 5.2 清 掃 | 16 |
| 5.3 動作確認 | 16 |

6. カスタマーサービス

6.1 製品保証とアフターサービス

| | | |
|-------------------|-------|----|
| 保証期間と保証内容 | _____ | 17 |
| 保証期間後のサービス（修理・校正） | _____ | 17 |
| 一般修理のご依頼 | _____ | 17 |
| 総合修理のご依頼 | _____ | 17 |
| 修理保証期間 | _____ | 17 |
| 修理対応可能期間 | _____ | 17 |

1. 一般概要

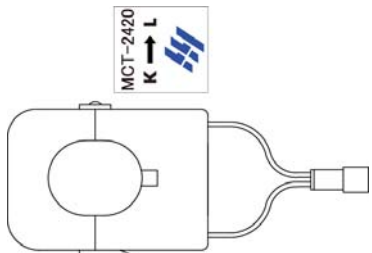
1.1 概要

本器「ソーラー監視王用 発電モニタ（以下、本器という）」は、弊社製「太陽光発電監視装置 ソーラー監視王（以下、ソーラー監視王という）」に追加することにより、太陽光発電設備の発電量をモニタすることが可能なオプション製品です。

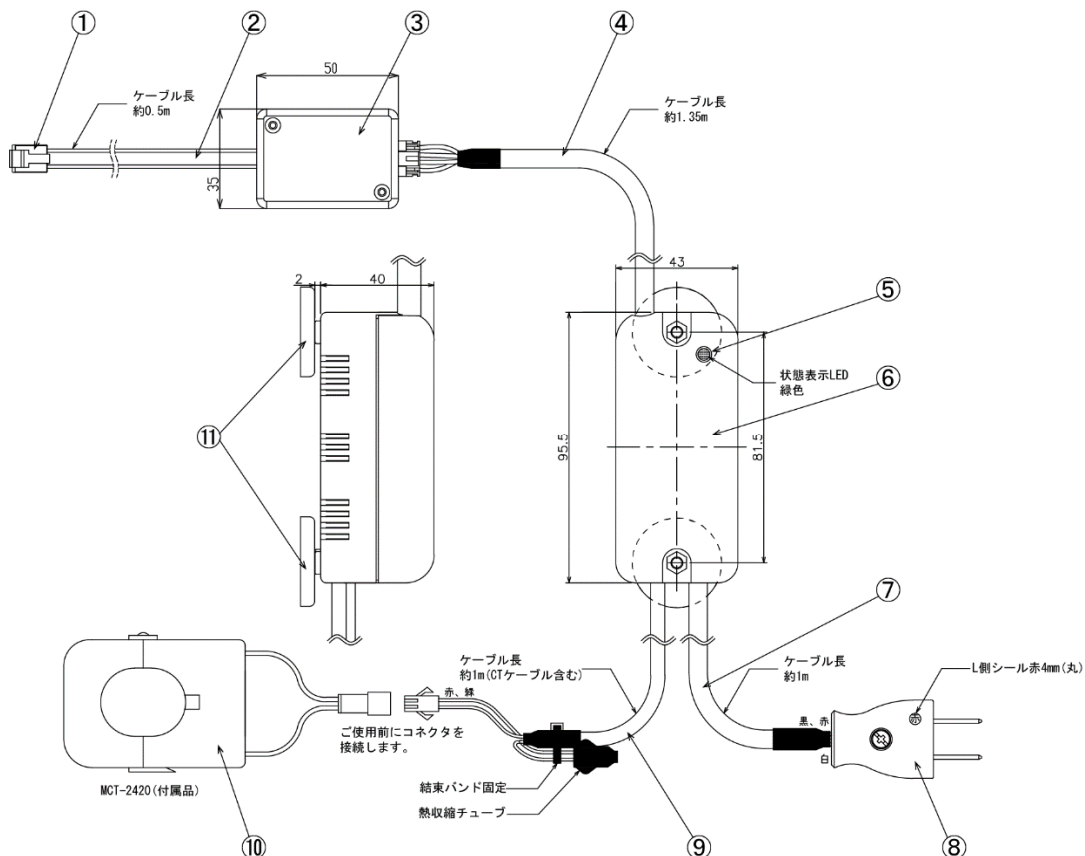
1.2 特長

- ソーラー監視王と組み合わせることにより、ソーラー監視王で監視している太陽光発電設備の発電量を簡単にモニタすることが可能です。
※本器単体ではご使用になれません。必ずソーラー監視王と合わせてご使用ください。
※本器は計量器ではありません。発電量、発電料金はあくまでも目安となります。あらかじめご了承ください。
- 当日の時間帯別発電量と月別累計発電量をソーラー監視王から登録通報先へ毎日電子メールで送信することができるので、毎日の発電量を手間なく確認できます。
- 発電単価は発電設備の電力買取単価に合わせて設定が可能です。
- 月別累計発電量の起算日は、毎月1日から28日の間で任意に設定が可能です。
- 本器の動作状態は本体の緑ランプ透過表示で簡単に確認できます。
- 本体裏面のマグネットにより、鉄製盤面にワンタッチで取り付けられます。
- 配線は分割型クランプCTセンサ、コンセントプラグ、モジュラープラグで簡単に接続できます。

1.3 付属品

| 製品名 | 本数 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| MCT-2420 CTセンサ  | 1 |
| 取扱説明書 | 1部 |

1.4 各部の名称



| | |
|-------------|------------------------|
| ① RJ11コネクタ | ソーラー監視王へ接続する通信コネクタ |
| ② モジュラーケーブル | ソーラー監視王との通信モジュラーケーブル |
| ③ 通信変換ボックス | ソーラー監視王との通信信号レベル変換ボックス |
| ④ 通信ケーブル | ソーラー監視王との通信ケーブル |
| ⑤ 状態表示LED | 本体の状態表示用透過式LEDランプ（緑） |
| ⑥ 発電モニタ本体 | 本器本体部分 |
| ⑦ 電源ケーブル | 電源入力兼電圧入力ケーブル |
| ⑧ 電源プラグ | 電源入力兼電圧入力プラグ |
| ⑨ 電流入力ケーブル | 電流入力ケーブル |
| ⑩ CTセンサ | 電流検出用CTセンサ |
| ⑪ 設置用マグネット | 本体設置用マグネット |

2. 仕様

2.1 製品仕様

2.1.1 一般仕様

| | | | |
|-------|---------------------------------------------|----------------|--------------|
| 使用環境 | -10~60℃、80% RH 以下 ただし結露しないこと（防水機能なし） | | |
| 保存環境 | -10~60℃、80% RH 以下 | | |
| ケース材質 | ABS樹脂 | | |
| 耐電圧 | 入出力端子-ケース間 | AC1500V 1分間 | カットオフ電流 10mA |
| 絶縁抵抗 | 入出力端子-ケース間 | DC500V 20MΩ 以上 | |
| 外形寸法 | 43(W) × 95.5(D) × 40(H)mm 各±5mm （突起部を含まず） | | |
| 質量 | 本体：約 300g（CTを含まず） CT：約 150g | | |

2.1.2 基本仕様

| | | |
|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 使用電源 電源 消費電力 | AC100V±10% 50/60Hz 約 1W 以下 | |
| 電力測定仕様 使用電流センサ 適用電流 変流比 電力量積算 測定電力範囲 測定電力値保証範囲 | MCT-2420 200Arms 3000 : 1 0~4294967295Wh（オーバーフロー・停電時はゼロリセット） 0~40kW 2~40kW 精度：±10%rdg. 力率=1に於いて ※ソーラー監視王を含む総 ※PCSの力率により測定精度 合測定精度 が10%を超える場合があります。 | |
| その他の仕様 保安機能 LED表示（緑） 電源プラグ形状 通信コネクタ | 電源ヒューズ 0.5A サージアブソーバ 270V 通常時 通信時 無計量時 平型プラグ RJ11 コネクタ（6極6芯） 本体内蔵 本体内蔵 電源ONで点灯 消灯 1秒間無計量で点滅 ※CTの方向と電源の方向が 不一致または無負荷状態 | |

2.2 通報仕様

2.2.1 発電量通知通報仕様

発電量通知通報機能は、発電モニタによって計測した発電データを指定通報先へ通知する機能です。

通知時間は毎日 21 : 00～21 : 30 の間に送信されます。

| 項目 | 設定内容 | 備考 |
|-----------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 通報先 | 最大 5 件(グループ) | 通報先を選択できます。 |
| 発電電圧 | 100V/200V | 設備の発電電圧を選択します。 |
| 1kW 当りの単価 | 0.00～99.00(円) | 1kW 当りの単価を 0.01 円単位で設定します。 |
| 起算日 | 1～28(日) | 月別累計発電量の起算日を 1 日～28 日の範囲で設定します。 |
| 時間別発電量通知 | 有効/無効 | 1 時間毎の時間別の発電量通知の有無を設定します。 |
| 通報時間帯 | オプション | オプションにてご利用いただけます。 MBS からの通報時間帯を指定する場合、0 時～24 時の範囲で 1 時間単位に設定が可能です。 通報時間帯設定はソーラー監視王から通報される時刻に関係なく設定された時間帯の中で通報が送信されます。 |

※起算日を変更すると月別累計発電量がリセットされます。月別累計発電量は次回起算日から適用されます。

※1kW当りの単価が未設定の場合、「発電料金」と「単価」は「——」（バー）表示となります。

2.2.2 発電量通知通報例

時間別発電量通知通報が有効設定の場合

1日の発電量

2016/03/01 21:00:00

入力メッセージ

本日の発電量

発電量 : 123 [kWh]

発電料金: 3,690 円

単価 : 30 円

時間帯別発電量(4時台～20時台の発電量)

04:00 0 [kWh]

05:00 0 [kWh]

06:00 5.0 [kWh]

07:00 3.2 [kWh]

08:00 6.6 [kWh]

09:00 9.5 [kWh]

10:00 12.5 [kWh]

11:00 16.4 [kWh]

12:00 12.7 [kWh]

13:00 16.7 [kWh]

14:00 13.7 [kWh]

15:00 12.5 [kWh]

16:00 9.5 [kWh]

17:00 4.8 [kWh]

18:00 0 [kWh]

19:00 0 [kWh]

20:00 0 [kWh]

月別累計発電量

発電量 : 1,353 [kWh]

発電料金: 40,590 円

単価 : 30 円

起算日 : 1 日

※ご注意:監視王は計測器ではございません。
発電量、発電料金はあくまでも目安となります。
予めご了承ください。

3. 設置(監視設備への取り付け)



警告

- ・ソーラー監視王および本器の設置作業は、必ず電気工事士へご依頼ください。
- ・ソーラー監視王および本器を設置する際は、設備停電状態で作業してください。
- ・活線状態での設置作業は、感電事故、短絡事故などの原因となり大変危険ですので、活線状態での作業は絶対に行わないでください。

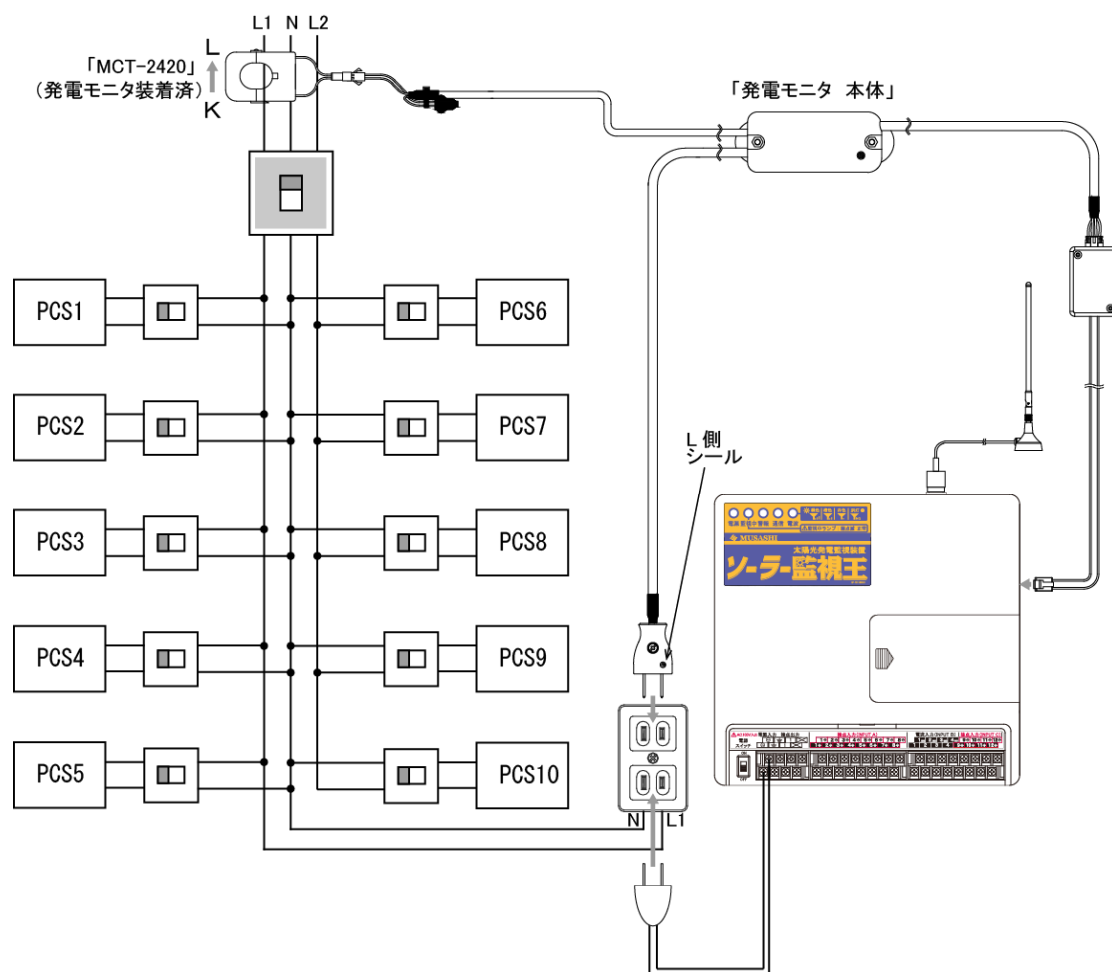
3.1 接続

3.1.1 ソーラー監視王の設置

本器は、ソーラー監視王のオプション製品です。
 本器を設置する前に、ソーラー監視王が正常に稼動している状態としてください。
 既に稼動しているソーラー監視王に本器を追加する場合は、次項以降の手順へお進みください。

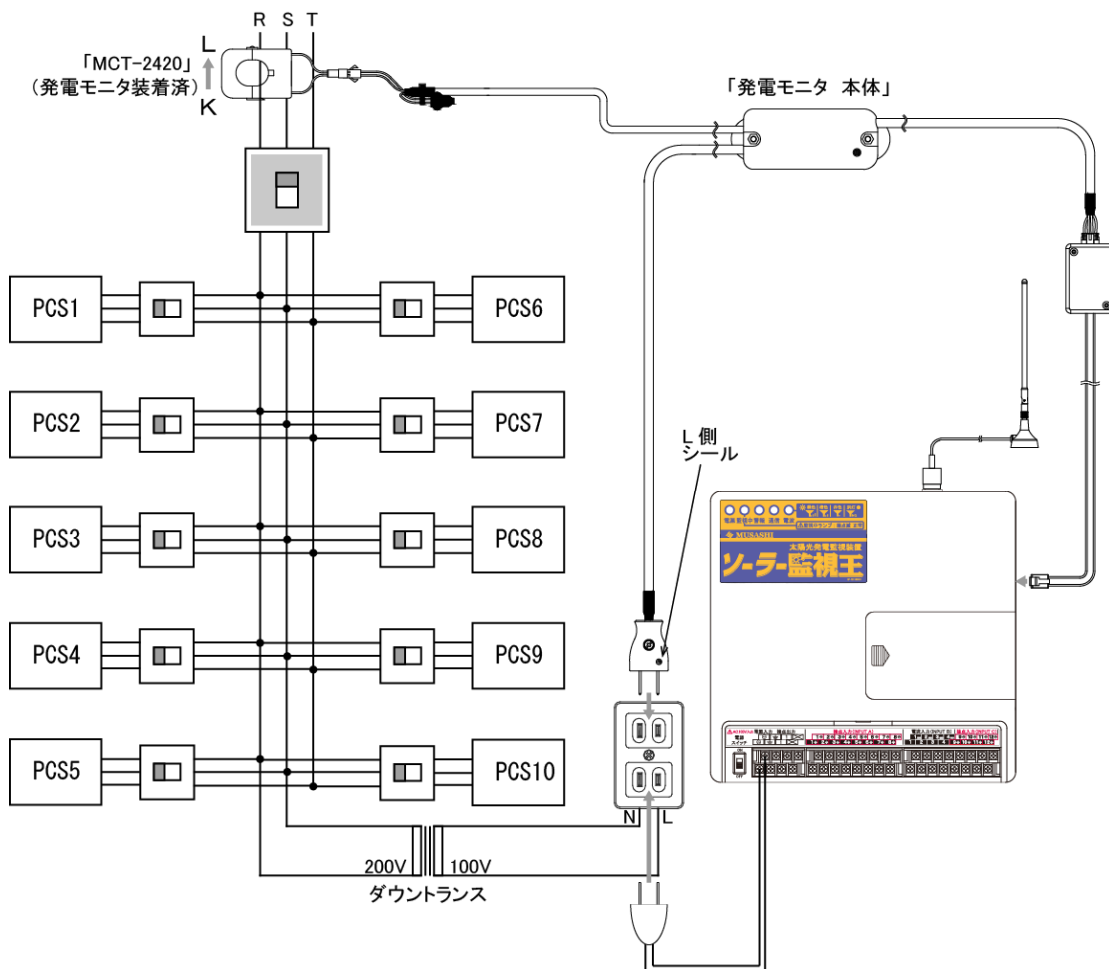
| 手順 | 操作方法 |
|----|-------------------------------------------|
| 1 | ソーラー監視王を設置する設備を停電状態とします。 |
| 2 | ソーラー監視王の施工説明書を参照し、ソーラー監視王を設置します。 |
| 3 | ソーラー監視王を設置した設備の電源を復帰します。 |
| 4 | ソーラー監視王の簡単設定マニュアルを参照し、MBSからソーラー監視王を設定します。 |

3.1.2 単相3線回路への接続



| 手順 | 操作方法 |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 本器を設置する設備を停電状態とします。 |
| 2 | 本器を設置する盤内にAC100Vコンセントがない場合は、上図配線を参照しコンセントの増設工事を行ってください。 |
| 3 | 本器付属のMCT-2420 CTセンサのコネクタと電流入力ケーブルのコネクタを「カチッ」と音がするまで挿し込み、確実に接続します。 |
| 4 | MCT-2420 CTセンサを、上図配線を参照し矢印の向きに注意してクランプします。 |
| 5 | 本器の電源プラグを、極性に注意してAC100Vコンセントにしっかりと差し込みます。 <ul style="list-style-type: none"> ・AC100VコンセントのL1側に電源プラグのL側シール(赤)側を合わせます。 ・ソーラー監視王の電源プラグの極性はどちらでも構いません。 |
| 6 | ソーラー監視王本体右側面のモジュラーコネクタに本器通信ケーブルのRJ11コネクタを「カチッ」と音がするまで挿し込み、確実に接続します。 |
| 7 | 本器を設置した設備の電源を復帰します。 |

3.1.3 三相3線回路への接続図



| 手順 | 操作方法 |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 本器を設置する設備を停電状態とします。 |
| 2 | 本器を設置する盤内に AC100V コンセントがない場合は、上図配線を参照しダウントランスおよびコンセントの増設工事を行ってください。 |
| 3 | 本器付属の MCT-2420 CT センサのコネクタと電流入力ケーブルのコネクタを「カチッ」と音がするまで挿し込み、確実に接続します。 |
| 4 | MCT-2420 CT センサを、上図配線を参照し矢印の向きに注意してクランプします。 |
| 5 | 本器の電源プラグを、極性に注意して AC100V コンセントにしっかりと差し込みます。 ・ AC100V コンセントの L 側に電源プラグの L 側シール(赤)側を合わせます。 ・ ソーラー監視王の電源プラグの極性はどちらでも構いません。 |
| 6 | ソーラー監視王本体右側面のモジュラーコネクタに本器通信ケーブルの RJ11 コネクタを「カチッ」と音がするまで挿し込み、確実に接続します。 |
| 7 | 本器を設置した設備の電源を復帰します。 |

3.2 状態表示 LED の点灯確認

本器設置設備の電源を復帰してから、本器の状態表示LEDにより状態を確認します。

状態表示LEDが緑点滅している場合は、電力量の計量が正常に行えません。
下表を参照し、各配線、接続状態を確認して状態表示LEDが緑点灯状態としてください。

| 状態表示 LED | 状態 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 緑点灯 | 通常状態 |
| 消灯 | ソーラー監視王と通信中 または AC100V 電源が未接続 |
| 緑点滅 | 電力量無計量状態 <ul style="list-style-type: none"> ・ CT センサの方向または位置と電源プラグの方向が不一致 ・ CT センサの未接続 ・ 無負荷状態 |

4. 設定(インターネットによる設定)

4.1 MBS からの設定

ソーラー監視王で発電モニターを使用するためには、パソコンや携帯端末（携帯電話、スマートフォンなど）によりインターネット経由で MBS（ムサシバックアップサーバーシステム）に接続し、以下の設定手順に沿ってソーラー監視王の設定が必要です。

※本器を接続するソーラー監視王は、事前にソーラー監視王の簡単設定マニュアルを参照して設定を終了させておいてください。

設定を行うにあたりソーラー監視王にアンテナと AC 電源コードを接続し、電源を ON してください。

※ソーラー監視王の設定を行うにはソーラー監視王本体の電源が入って起動している必要があります。

※ソーラー監視王の簡単設定マニュアルを参照し、MBS へログインしてください。

<基本手順>

①MBS へのログインと端末選択

インターネットから MBS へログインして設定を行うソーラー監視王を選択します。

↓

②ソーラー監視王から読み込み

ソーラー監視王本体の設定内容を MBS に読み込みます。

↓

③通報先設定

「通報先設定」で発電量通知を行うメールアドレスが設定されている事を確認します。

↓

④発電量通知通報設定

「発電量通知通報設定」内の各設定を行い保存します。

↓

⑤更新と再起動

MBS に保存されたデータ内容を一括送信し、同時に更新を行います。

ソーラー監視王は新しい設定内容で再起動します。

4.1.1 MBS へのログインと端末選択

- ① ムサシインテックのホームページ「<http://www.musashi-in.co.jp/>」のメインメニューから「監視王サーバ(MBS)へのログイン」をクリックします。
- ② MBSのログインページが開きますので、「ログインID」「パスワード」を入力し、「認証」をクリックします。

| [ダウンロード](#) | [ログアウト](#)

ユーザー情報

| | |
|-----------|------------------------|
| ユーザー名 | 工場本部 |
| 会社名 | 株式会社ムサシインテック 品質管理課⑤ |
| 登録メールアドレス | abcde@musashi-in.co.jp |

[変更](#)

登録メールアドレスが未登録または変更される方は『変更』ボタンをクリックしてください。
ログインパスワードを変更される方は『変更』ボタンをクリックしてください。

登録一覧

タイトル名をクリックすると、通報内容の閲覧や、設定内容の変更が行えます。
タイトル・製造番号・電話番号による絞り込み検索が行えます。

[検索](#) [全表示](#)

| 機種別台数 | |
|--------|----|
| 機種 | 台数 |
| 監視王III | 1 |
| 監視王lor | 1 |
| 合計 | 2 |

| タイトル | 通信販売電話番号 | 監視王の製造番号 | 更新月 | プラン | シリーズ | 備考 |
|--------------|-------------|----------|-----|----------|--------|--------------------|
| ムサシインテックO×工場 | 08012345678 | 123456 | | | 監視王III | |
| ムサシインテックOO工場 | 08056781234 | 234567 | 10 | プレミアムプラン | 監視王lor | 編集 |

※ ↑ または ↓ をクリックすると、その項目の並び替えが可能です。

[ログアウト](#)

- ① 登録一覧には、ユーザー名で登録された監視王が全て表示されますので、設定する監視王の「タイトル名」をクリックします。
※ MBS オプションプランを選択いただくと「備考」欄が使用可能となり、任意の情報を半角 1000 文字（全角 500 文字）まで記入できます。

4.1.2 ソーラー監視王から読み込み

ムサシインテック 監視王
0908303828 (製造番号: 営業備品No.100003) 目次に戻る 通報一覧 計測データ 管理者メニュー

目次 > 管理者メニュー

管理者メニュー

■通信設定
通報先設定 ... メール送信を行うための設定項目です。

■通報設定
・定期・通電/停電/更新・電池通報 ... 定期、通電/停電/更新、試験、電池の設定を行います。
・入力端子通報 ... 入力端子(接点、漏電、温度)通報の設定を行います。

■出力端子設定
出力端子の設定を行います。

■メンテナンス
電池電圧/受信電波レベル/バージョン情報が確認できます。

■監視王本体とMBSセンターとの設定バージョンのチェック
『確認』をクリックすると監視王の現在設定内容とMBSで管理されている内容とのバージョンを比較します。 確認

■他の監視王設定の引用
『検索』をクリックすると他の監視王の設定値を引用します。互換性のない項目は初期値が適用されます。 検索

■監視王から読み込み
『読み込み』をクリックすると監視王の現在設定内容をMBSに読み込みます。 読み込み

■監視王の設定内容更新
『更新』をクリックするとMBSに保存された全ての設定内容を監視王に送信し、設定内容を書き換えて再起動します。この時に更新通報が送信されます。 更新

■設定内容一覧の表示
『表示』をクリックするとMBSに設定されている内容を一覧表示します。 表示

■試験通報
『送信』をクリックすると試験通報を行います。 送信

■監視王との通信履歴
監視王との通信履歴を一覧表示します。 検索

■工場出荷時の設定に戻す
『適用』をクリックすると工場出荷時の設定に戻ります。 適用

■初期値に戻す
・『適用』をクリックするとMBSに登録された設定内容が消去され、初期設定値に戻ります。
・改めて再設定後に「監視王への設定内容送信」と「監視王の設定内容更新」を行ってください。 適用

- ① 「監視王から読み込み」の「読み込み」をクリックします。
※ 「読み込み」をクリックしても画面上で何も反応しない場合はお使いのパソコン上でインターネットブラウザの「ポップアップブロック」を解除してください。
または、「ctrl」キーを押しながらクリック(操作)してください。
- ② 読み込みが完了したら、「通信設定」をクリックします。

4.1.3 通報先の確認

ムサシインテック〇〇工場
08056781234 (製造番号:234567)

管理者メニュー | 通信設定 | 通報設定 | 出力端子設定 | メンテナンス

目次 > 管理者メニュー > 通信設定 > 通報先設定

通信設定

通報先設定

【説明を表示】

※注意

- 『送信』をクリックすると監視画に設定内容を送信しますが更新されません。監視画に送信された設定内容を更新するには「管理者メニュー」「監視画の設定内容更新」で『更新』をクリックすることにより変更されます。
- 『保存』をクリックすると、MBSIに設定内容を保存させます。
- 『初期値に戻す』をクリックすると、MBSの設定が初期設定値に戻ります。

【通信欄設定】

バケット通信機電話番号

【双方設定】

ローカルIPアドレス

【メール設定】

発信メールアドレス

| | | |
|--------|-------------------------------------------|--------------------------------------|
| 第1 通報先 | <input type="text"/> | <input type="button" value="テスト送信"/> |
| 第2 通報先 | <input type="text"/> | <input type="button" value="テスト送信"/> |
| 第3 通報先 | <input type="text"/> | <input type="button" value="テスト送信"/> |
| 第4 通報先 | <input type="text"/> | <input type="button" value="テスト送信"/> |
| 第5 通報先 | <input type="text"/> | <input type="button" value="テスト送信"/> |
| タイトル名 | <input type="text" value="ムサシインテック〇〇工場"/> | |
| メッセージ | <input type="text"/> | |

- ① 通報を送信するメールアドレス (5 件まで) について、各「通報先」と「タイトル名」、「メッセージ」(連絡先等) 内容を確認します。
 通報先の追加、変更がある場合は、ここで追加、変更を入力してください。
 ※ 「タイトル名」は半角 100 文字相当(全角 50 文字相当)まで、「メッセージ」は半角 1000 文字相当(全角 500 文字相当)まで入力できます。
 ※ 第 1～第 5 の各「通報先」をグループとして、メールアドレスごとに「;」で区切ることで 1000 文字まで記入できます。
 ※ 第 1～第 5 の各「通報先」に対して MBS から直接テスト通報を行い、メールの受信確認が可能な「Web テスト通報機能」をご利用いただけます。
- ② 「保存」をクリックし、保存が完了したら画面上部の③「通報設定」をクリックします。

4.1.4 発電量通知設定

発電量通知通報設定

| [定期通報設定](#) | [通電・停電・更新通報設定](#) | [試験通報設定](#) | [電池通報設定](#) | [リトライオーバー通報設定](#) | [装置監視通報設定](#) | [発電量通知通報設定](#) |

[《説明を表示》](#)

※注意

- (はじめに通信設定ページの通報先設定より、通報先メールアドレスが設定されていることを確認してください。)
- 『保存』をクリックすると、MBSに設定内容を保存させます。
- MBSに保存された設定内容を更新するには「管理者メニュー」 「監視王の設定内容更新」で『更新』をクリックすることにより変更されます。
- 『初期値に戻す』をクリックすると、MBSの設定が初期設定値に戻ります。
- 発電電圧は設備の発電電圧となる100V/200Vのいずれかを選択してください。

| 通報先 | 通報時間帯 | 発電電圧 | 1KWh当りの単価 | 起算日 | 時間別発電量通知 |
|----------------------------------------|-------|---------------------------------------|-----------|-----|--------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 第1 | ~ 時 | <input type="radio"/> 100V | 0.00 円 | 8 日 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 第2 | ~ 時 | <input checked="" type="radio"/> 200V | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 第3 | ~ 時 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 第4 | ~ 時 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 第5 | ~ 時 | | | | |

- ①画面上部の「発電量通知通報設定」をクリックします。
- ②通知を行う通報先にチェックを入れます。
- ③設備の発電電圧にチェックを入れます。
※設備の発電電圧に合わせて「100V」または「200V」を選択します。
- ④1kW 当りの単価を入力します。
※設備の 1kW 当りの売電価格を数値入力します。
- ⑤月別累計発電量の起算日を選択します。
※設備の検針日付近の日付に設定することができます。
※電力会社の検針は月によって日付が多少前後します。また、検針は日中に行われるため電力会社の検針票と「月別累計発電量」は一致しません。
※「1日」～「28日」の間の日付を選択します。
- ⑥時間別発電量通知の有無のチェックを入れます。
- ⑦「保存」をクリックし、保存が完了したら画面上部の「管理者メニュー」をクリックします。

※MBSオプションプランを選択いただくと「通報時間帯」設定が使用可能となり、MBSから通報メールを送信する時間帯を限定することができます。

※ソーラー監視王のその他設定を変更する場合は、ソーラー監視王の「簡単設定マニュアル」を参照し、設定を変更してください。

4.1.5 更新と再起動

(NO TITLE)
09083033847 (製造番号:営業備品No.100005)
目次 > 管理者メニュー

目次に戻る 通報一覧 計測データ 管理者メニュー

管理者メニュー

■通信設定
・通報先設定 ... メール送信を行うための設定項目です。

■通報設定
・定期・通電/停電/更新・電池通報 ... 定期、通電/停電/更新、試験、電池の設定を行います。
・入力端子通報 ... 入力端子(接点、漏電、温度)通報の設定を行います。

■出力端子設定
出力端子の設定を行います。

■メンテナンス
電池電圧/受信電波レベル/バージョン情報が確認できます。

■監視王本体とMBSセンターとの設定バージョンのチェック
『確認』をクリックすると監視王の現在設定内容とMBSで管理されている内容とのバージョンを比較します。 [確認]

■他の監視王設定の引用
『検索』をクリックすると他の監視王の設定値を引用します。互換性のない項目は初期値が適用されます。 [検索]

■監視王から読み込み
『読み込み』をクリックすると監視王の現在設定内容をMBSに読み込みます。 [読み込み]

■監視王の設定内容更新
『更新』をクリックするとMBSに保存された全ての設定内容を監視王に送信し、設定内容を書き換えて再起動します。この時に更新通報が送信されます。 [更新]

■設定内容一覧の表示
『表示』をクリックするとMBSに設定されている内容を一覧表示します。 [表示]

■試験通報
『送信』をクリックすると試験通報を行います。 [送信]

■監視王との通信履歴
監視王との通信履歴を一覧表示します。 [検索]

■工場出荷時の設定に戻す
『適用』をクリックすると工場出荷時の設定に戻ります。 [適用]

■初期値に戻す
・『適用』をクリックするとMBSに登録された設定内容が消去され、初期設定値に戻ります。
・改めて再設定後に「監視王への設定内容送信」と「監視王の設定内容更新」を行ってください。 [適用]

①各項目の設定と保存が完了したら、「監視王の設定内容の更新」の「更新」をクリックします。

「更新」が完了すると監視王は一旦全てのランプが消灯し、新しい設定内容で再起動し「通電・停電・更新通報」が設定されている場合は、「更新通報」を送信します。

※「更新通報」の確認は、メールの着信及びMBSの「通報一覧」画面にてご確認できます。

※「設定内容一覧の表示」をクリックすることで、現在設定されている内容をプリントアウトすることができます。

②更新通報を確認したら、「目次に戻る」をクリックし、「登録一覧画面」をクリックして画面下部の「ログアウト」でMBSからログアウトします。

5. 保守

5.1 点検

| | |
|--------|-----------------------------------------------------------|
| 付属品の確認 | 付属品の章を参照し、付属品の有無を確認します。 |
| 構造の点検 | 本器を点検し、部品、ケースの変形が無いか調べます。 接続コードを点検し、亀裂、つぶし、断線が無いか調べます。 |

5.2 清掃

| | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 本器の清掃 | 本器の筐体はABS樹脂製となっていますので、清掃にシンナー、アセトンなど溶剤系薬品を使用しないでください。 固く絞った雑巾、乾いた布などで清掃してください。 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|

5.3 動作確認

| | |
|----------|--------------------------------------------------|
| 表示ランプの確認 | 日常的に表示ランプの確認を行い、「状態表示ランプ」が「緑」で点灯していることを確認してください。 |
|----------|--------------------------------------------------|

※本器に異常が発見された場合は、速やかに電源コードのプラグをコンセントから引き抜いて使用を中止し、弊社またはお求めの代理店へ修理をご依頼ください。

6. カスタマーサービス

6.1 製品保証とアフターサービス

| | |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保証期間と保証内容 | <p>納入品の保証期間は、お受け取り日（着荷日）から1年間といたします。（修理は除く）この期間中に、当社の責任による製造上及び、部品の原因に基づく故障を生じた場合は、無償にて修理を行います。ただし、天災及び取扱ミス（定格以外の入力、使い方や落下、浸水などによる外的要因の破損、使用・劣悪な保管環境等）による故障修理と校正・点検は、有償となります。また、この保証期間は日本国内においてのみ有効であり、製品が輸出された場合は、保証期間が無効となります。また、当社が納入しました機器のうち、当社以外の製造業者が製造した機器の保証期間は、本項に関わらず、該当機器の製造業者の責任条件によるものといたします。</p> |
| 保証期間後のサービス（修理・校正） | <p>有償とさせていただきます。当社では、保証期間終了後でも高精度、高品質でご使用頂けるように万全のサービス体制を設けております。アフターサービス（修理・校正）のご依頼は、当社各営業所又は、ご購入された代理店に製品名、製品コード、故障・不具合状況をお書き添えの上ご依頼ください。修理ご依頼先が不明の時は、当社各営業所にお問い合わせください。</p> |
| 一般修理のご依頼 | <p>お客様からご指摘いただいた故障箇所を修理させていただきます。点検の際にご依頼を受けた修理品が仕様に記載された本来の性能を満足しているかチェックし、不具合があれば修理のお見積りに加え修理させていただきます。 （「修理・検査済」シールを貼ります。）</p> |
| 総合修理のご依頼 | <p>点検し故障箇所の修理を致します。点検の際にご依頼を受けた修理品が仕様に記載された本来の性能を満足しているか総合試験によるチェックを行い、不具合があれば修理させていただきます。さらに消耗部品や経年変化している部品に関して交換修理（オーバーホール）させていただきます。修理依頼時に総合試験をご希望される場合は、「総合試験」をご指定ください。校正点検とは、異なりますので注意してください。 （「総合試験合格」シールを貼ります）</p> |
| 修理保証期間 | <p>修理させていただいた箇所に関して、修理納入をさせていただいてから6ヶ月保証させていただきます。</p> |
| 修理対応可能期間 | <p>修理のご依頼にお応えできる期間は、基本的に同型式製品の生産中止後7年間となります。また、この期間内に於いても市販部品の製造中止等、部品供給の都合により修理のご依頼にお応え致しかねる場合もございますので、ご了承ください。</p> |

